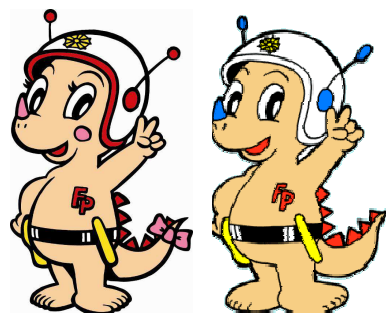


福井県公安委員会 開催概要

平成30年5月31日開催「定例公安委員会」



会議状況

1 事務概況報告

県警察から大野警察署の業務推進状況等について報告があった。

2 包括的案件

〈報告事項〉

(1) 偽装交通事故による自動車保険金詐欺事件の検挙

県警察から、偽装交通事故による自動車保険金詐欺事件の検挙について報告があった。

委員から「このような事件が二度と起こらないことが良いので、全容の解明をお願いする。」との発言があった。

委員から「整骨院の経営者による保険金詐欺事件の検挙は以前にも報告があったと記憶しているが、今回は集団での犯行ということで以前のケースとは違うのか。」との発言があり、県警察から「今回は偽装の交通事故を作り上げた詐欺事件の検挙である。昨年のケースは施術費に係る保険金の水増し請求による詐欺事件の検挙である。」との説明があった。

委員から「制度を巧みに利用した悪質な犯行であるが、警察署が連携しながら地道に捜査し検挙できたことは良かった。このような犯罪に対しては、引き続き厳しく対応願いたい。」との発言があった。

(2) 平成29年度の犯罪被害者等支援の状況

県警察から、平成29年度の犯罪被害者等支援の状況について報告があった。

委員から「犯罪被害者等支援の体制としては、県警察本部に統括的な部署を置いて活動しているのか。」との発言があり、県警察から「県警察本部に被害者支援室を置き、支援に係る連絡や調整、広報啓発活動などを行っている。また、各警察署には被害者支援要員を配置し、事案があった場合に被害者支援室と連携を取りながら支援活動を行っている。」との説明があった。

委員から「犯罪に遭われた時に、被害者の方が最初に接するのが警察の方であるので、被害者の方に寄り添うことを心掛けて支援活動を行っていただきたい。」との発言があった。

委員から「犯罪被害者の支援は、警察や協力団体による個別的具体的な支援が大切であるが、被害者に寄り添って支える意識と、被害者を出さない意識を県民に広めることも大事であると思うので、両面での取組を推進していただきたい。」との発言があった。

(3) 福井県警察におけるワークライフバランス等の推進に向けた取組

県警察から、福井県警察におけるワークライフバランス等の推進に向けた取組について報告があった。

委員から「育児世代職員を対象にした経験者との座談会は、子育てや職場復帰への不安解消に有効であると思う。また、男性職員に対して配偶者出産休暇の取得を奨励するメールを自動配信するという取組は、取得率の向上に効果があると思う。」との発言があった。

委員から「優秀な女性警察官の採用に期待するとともに、キャリアアップに向けて工夫を凝らした施策をお願いする。」との発言があった。

委員から「県民の安全・安心を守るためには、警察職員一人ひとりが仕事でも私生活でも充実し、それによって組織全体が生き生きしてくることが大事だと思う。良い取組を推進し効果を上げていただきたい。」との発言があった。

3 個別決裁

(1) 平成30年度における留置施設の実地監査実施要領等

平成30年度における県下留置施設に対する実地監査の実施要領等について説明を受け、これを決裁した。

(2) 警備業関係行政処分

警備員検定合格証明書の返納命令処分について説明を受け、これを決裁した。

4 運転免許の処分関係

本日（5月31日）実施した道路交通法違反等に関する意見の聴取等7件の実施結果と処分内容に関する説明を受け、原案のとおりこれを決定した。